

比・地滑り支援 AMDA 帰国報告



ら、医師や看護師ら七人を派遣。医薬品などの救援物資を届け、現地の避難所で地元医師らとともに被災者の治療にあたっていた。

医師の常駐していない避難所もあり、AMDAメンバーらは二十八日の帰国までに約三百人を診療。けが人は少ないが、避難所生活による生活環境の変化などが原因で、かぜなど呼吸器系疾患にかかっている被災者が多

「被災者の心のケア重要」

フィリピン・レイテ島について報告＝写真。藪

で起きた大規模地滑り谷医師らは「今後さら

に、被災者支援を続けて、家族を亡くした被災

きた国連NGO「AMD者らの心のケアなどが重

A」（岡山市）の藪谷亨 要になる」と強調した。

医師らメンバーが二日、AMDでは、地滑り

帰国会見し現地での活動 発生翌日の二月十八日か

AMD Aによると、地

滑りによる死者は約百三

十人で、行方不明者は約

千人にのぼる。現在も約

三千二百人が避難生活を

余儀なくされている。